

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

令和3年5月27日（木）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立長南小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 57人 ）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語及び数学。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### (3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

### 1. 全体の傾向

平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて低位層と上位層が少なく、中位層に多く分布している。

平均正答率（本校 64／泉佐野市 60／大阪府 63／全国 64.7）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問	
<設問番号1二> ○資料を用いた目的を理解する (84.2/74.9)	<設問番号2一> ○文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する (59.6/77.6)	<設問番号3三(2)オ> ○文の中における修飾と被修飾の関係を捉える (28.1/43.6)
<設問番号1一> ○目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える (84.2/77.5)	<設問番号3一> ○自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える (56.1/64.8)	
<設問番号1三> ○目的や意図に応じ、資料を使って話す (87.7/81.0)		

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	66.6	58.4	◇	8.2
国語の勉強は大切だと思いますか	96.5	93.2		3.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.2	84.2		0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	98.2	91.8	◇	6.4
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	84.2	82.2		2.0
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	66.7	63.8		2.9
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	70.2	71.6		1.4
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	78.9	74.3		4.6
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか	98.2	97.5		0.7

○漢字を書く問題について3問すべてで全国の正答率を上回ったことや無答率が低いことなど、これまでのとりくみによる成果が表れている。

○文の中における修飾と被修飾との関係をとらえるなどの文法に関するものの理解に課題がある。

○文章全体の構成をとらえ、内容の中心となる事柄を把握することに課題がある。

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

### 1. 全体の傾向

平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて低位層が少なく上位層及び中位層に多く分布している。  
平均正答率（本校 74／泉佐野市 68／大阪府 70／全国 70.2）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問	
<設問番号1（5）> ○速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる (91.2/85.1)	<設問番号1（1）> ○二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選びその求め方と答えを記述できる (57.9/62.5)	
<設問番号3（2）> ○棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる (94.7/90.7)	<設問番号2（3）> ○複数の図形を組み合わせて図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる (49.1/46.0)	
<設問番号4（1）> ○示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる (89.5/83.0)	<設問番号3（4）> ○帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる (56.1/52.0)	

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	66.7	67.8		1.1
算数の勉強は大切だと思いますか	98.3	93.8		4.5
算数の授業の内容はよく分かりますか	75.4	84.6	◇	9.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	93.0	92.6		0.4
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	75.4	73.9		1.5
算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	96.5	82.7	○	13.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	91.2	89.0		2.2
算数の授業で問題の解き方や考えがわかるようにノートに書いていますか	82.4	91.9	◇	9.5
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか（全ての書く問題で最後まで書こうと努力した）	89.5	79.9	◇	9.6

○無答率の低さやアンケートから、あきらめずにいろいろな方法を考えようとする姿がみえ、学習に対する意欲の高まりがみられた。また、知識や技能を問う問題での正答率が比較的高く、これまでのとりくみの成果がみられた。

○問題や資料を端までしっかり読み取ること、何をきかれているかを理解すること、必要な所を読み取ること課題がある。

○自分の考えを順序だてて書くこと、理解したことを相手に伝えることに課題がある。



## 本校の取組

### ◎これまでの取組

#### 【学習面】

- (1) 少人数習熟度別指導  
算数と国語を中心に、1つの学級を複数の少人数グループに分け、そのグループごとに教員が指導し、よりきめ細かな指導、発表や質問がしやすい環境をめざしています。
- (2) 長南タイム（朝学習）  
1時間目の授業が始まるまでの10分間を活用し、読書や漢字にとりこんでいます。
- (3) サポートタイム（放課後学習）  
金曜日の放課後、家庭と連携を取りながら、学習に課題があった子どもたちと学級担任が、個々の課題を克服するためにじっくり時間をかけて頑張っています。
- (4) スキルアップルーム（学期末学習）  
4・5・6年生の希望者を対象とし、子どもたち自らが進んで自学自習する態度を身につけることができるように実施しています。
- (5) 算数サポーター（月、火、木、金曜日）  
算数の授業に入り込み、子ども一人ひとりによりきめ細やかな支援を行います。
- (6) 自主学習の推進  
児童の主体的に学ぶ態度を育てるため、自主学習ノート（やる気ノート）にとりこんでいます。

#### 【生徒指導面】

- (1) いじめアンケート、生活アンケートを実施
- (2) 学期の初めにセカンドステップを実施
- (3) 全委員会の児童（5・6年生）によるあいさつ運動を実施

### ◎これからの取組

#### 【学習面】

- (1) 国語、算数  
長い文章から必要な情報を読みとる活動を充実させます。また、学習課題について自分の考えを問題文や必要な資料等を活用して順序だてて文章で書くとりくみを行います。
- (2) 少人数習熟度別指導  
少人数習熟度別指導、基礎基本の定着、コミュニケーション力向上の取組を進めます。
- (3) 長南タイム（朝学習）  
漢字の定着を意識した取組を継続します。読書の質を高め、量を増やします。
- (4) サポートタイム（放課後学習）  
継続します。
- (5) スキルアップルーム  
継続します。
- (6) 算数サポーター  
継続します。
- (7) ノートの活用や工夫  
よい実例を紹介し、自学の楽しさやノートの工夫の便利さ等を感じさせるために継続します。

#### 【家庭学習面】

- ・家庭での学習の仕方（質や量）について、定着を図ります。

#### 【生徒指導面】

- (1) いじめアンケート、生活アンケート 継続します。
- (2) セカンドステップ 継続します。
- (3) 全委員会の児童（5・6年生）によるあいさつ運動 継続します。